

様式第2(第9条関係)

活動実施報告書（令和元年度）

名称：社会福祉法人 伊敷福祉会 伊敷保育園

所在地：鹿児島市伊敷7丁目8番20号

電話番号：099-228-7850 E-mail：

4月：生き物を大切にしよう

取組内容

動物園の動物や園庭でみつけた昆虫に触れあうことで、生き物の温もり等感じ、生命の尊さや、生き物への優しさを学ぶ。

取組結果・感想等

動物園のふれあいコーナーで小動物を抱っこすると、「あたたかいね」「ちいさいね」と優しく撫でる姿が見られた。また、園庭にいたバッタをかごに入れ、しばらく観察すると、「かわいそうだから、逃がしてあげよう」と子どもたちが言っていた。生き物を大切にしようとする気持ちは子どもたちに育まれているようだった。

活動の様子(写真等)



5月：水を大切に(節水)

取組内容

絵本や紙芝居を通して、水の大切さを学び、節水を意識する。

取組結果・感想等

水道の水は、使いすぎてしまうとなくなってしまう事や、排水された水で海や川が汚れてしまうことを知り、大変驚いていた。子どもたちからは、手洗いの水を出しつぱなしにしない、歯磨きはコップ1杯にする等、節水に対する感想がでした。

活動の様子(写真等)



6月：物を大切に

取組内容	活動の様子(写真等)
紙や玩具を大切に使えるように意識する。	
取組結果・感想等	

7月：花や葉っぱで色水作り

取組内容	活動の様子(写真等)
朝顔、ピーマン、人参を使って色水を作り、画用紙に色塗りをし、朝顔を製作する。	
取組結果・感想等	

8月：廃材を使って玩具を作ろう

取組内容

廃材を使って玩具を作り、資源の大切さを学ぶ。

活動の様子(写真等)



取組結果・感想等

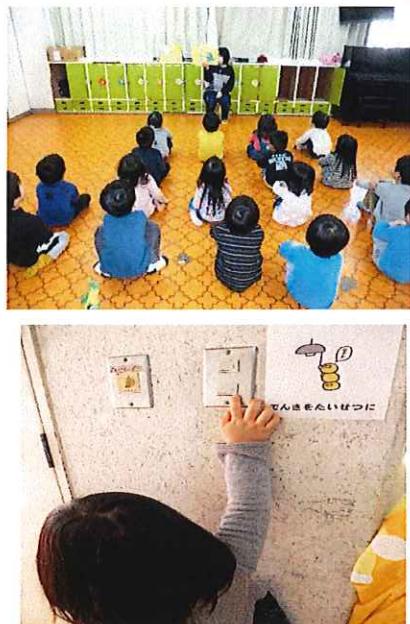
牛乳パックやペットボトルのキャップ、ヤクルト容器等の廃材を使って、それぞれ玩具を作りました。普段は、ごみとして捨てられていたものも、きれいに洗って使えれば、リサイクルできることや、身近なものも工夫すれば玩具が作れることに驚いていました。また子どもたちは、家でも簡単に工作できると喜んでいました。自分で考えて作った玩具は、いつも以上に大事に遊んでいました。

9月：電気を大切に(節電)

取組内容

節電に関する紙芝居を読んで電気の大切さを学び、節電を意識する。

活動の様子(写真等)



取組結果・感想等

紙芝居を見て、子どもたちからクーラーや照明をこまめに掃除する、使わない部屋の電気は消した方が良い等の感想が出来ました。
子どもの中には、使わない保育室の電気を率先して消してくれる子どももいて、節電に対する意識が深まったのではないかと印象を受けました。

10月：残食を減らそう！

取組内容

子どもたちに給食の残食の実態を伝え、栄養士から食べ物の大切さを学ぶ。

取組結果・感想等

栄養士から毎日の残食の実態を一日分、一週間分、一か月分、一年分と絵にして分かりやすく伝えると、子どもたちは残食の多さに驚いていました。その後、多くの子どもが苦手な野菜をいくつか取り上げ、栄養素について分かりやすく話をしてもらうことで、毎日の給食は栄養バランスを考え作られており、食べることへの意味を学ぶことができました。そのため、子どもたちは、給食時間に残さず食べるよう心がけるようになりました。

活動の様子(写真等)



11月：残食を減らそう！

取組内容

栄養士から残食の実態と食べ物の大切さを学び、残食を減らすよう実践する。

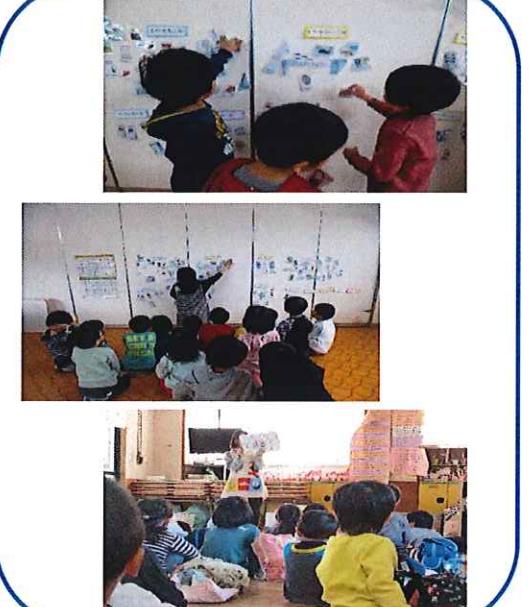
取組結果・感想等

栄養士の話を聞いてから2か月間、「残食を減らそう」を目標にして取り組んでいた結果、子どもたちの給食への関心も増え、意識も変わり、残さず食べができるようになりました。残食も今まで以上に減り、効果が出たのではないかと思います。これからも、食べ物を大切にすることや、感謝の気持ちを忘れずに持ち続けることを伝えていけるようにしていきたいです。

活動の様子(写真等)



12月：ゴミの分別って何だろう

取組内容	活動の様子(写真等)
鹿児島市のゴミの分別の仕組みを学び、実践する。	
取組結果・感想等	
<p>子どもたちに、家庭でどのようなゴミの分別をしているかを事前に見てきてもらい、保育園で実際に絵を使って、分別してもらいました。子どもたちの中には「おもちゃは修理すればゴミにならないよ」という声も聞こえました。物を大切にする気持ちが育まれているのと同時に、リサイクルをする意味に気付くことができた活動でした。家庭でも実践し、今後に役立てそうです。</p>	

1月：リサイクルの仕組みを知ろう

取組内容	活動の様子(写真等)
リサイクルの仕組みを学び、資源の大切さやリサイクル製品を身近に感じる。	
取組結果・感想等	
<p>紙芝居を通して、リサイクルの意味を知り、ごみに捨てていたものが新たな製品に変わることに驚いていた。また、身近な製品についているマークの意味や、リサイクルの仕組みを知ることで、リサイクル製品を身近に感じることができました。子どもたちは、保育園や家庭で、リサイクルマークを見つけ、「〇〇になるんだよね」と学んだことを意識して生活しているようです。</p>	

2月：廃材を使って玩具を作ろう

取組内容

身近な廃材を使ってひな人形を作り、資源の大切さを学ぶ。

取組結果・感想等

牛乳パックや新聞紙、トイレットペーパーの芯を使い、ひな人形を各クラスで作りました。身近な廃材であるため、子どもたちは出来上がりの変身を楽しんでいました。各クラスの完成したひな人形を飾ると、「これ牛乳パックだ！」「トイレットペーパー使ってます」など興味津々でした。廃材で作ったとは思えない、手作りならではの温かみのある、ひな人形に製作の幅が広がりました。

活動の様子(写真等)



3月：エコ取り組みの報告・来年の予定(園だより等)

取組内容

各クラスの取り組みの報告や、来年度の取り組みを決め、園だよりなどに記載する。

取組結果・感想等

取り組んだ活動報告を、園内の掲示板に掲示したら、保護者の方も興味深く見ていきました。簡単なことから始められるので保育園内の活動だけにせず、家庭でも意識して取り組んでいただけたらと思いました。
また、今年度も主に年長児クラスがエコ活動に取り組んでくれていたので、誰でも簡単に取り組める活動を紹介していただけたらと感じました。

活動の様子(写真等)



1年間取り組んだ感想・ご意見

エコ活動を意識した保育を取り入れ始めて2年目となりましたが、子どもたちは興味深く取り組んでくれました。普段当たり前のようにつかっていた電気や水も意識して節約したり、生き物や物を大事にしたりする気持ちを培うことができました。その中でも、ごみの分別や節水、節電などは家庭でも取り組むことができ、今後も続けていけるのではないかと思います。来年度は、更にエコ活動が定着していけるようになれば良いと思います。